

星辰

No97
 長野市大字南長野
 幅下692の2
 TEL.026-217-5858
県政だより
 発行責任者
 県民クラブ・公明大北
 宮澤敏文
 E-Mail:kenmindub
 @ily.ocn.ne.jp
 星辰とは、変わるこ
 とのないもの、理想

日本国最大の課題は人口減少・少子化への対策

昨年の出生率は80万人を切りました。世界で最も少子高齢化が進む行政体の長野県は確固たる政策を実行する時です。令和5年度予算について会派を代表して2時間を超える代表質問をしました。人口減少という日本の歴史にない「変革の時代」を迎え、「変えなければならぬものを変える勇氣」と「変えてはならないものを受け入れる寛容さ」の大切さを述べました。

オール長野県で相手の意見を聞き、出来る限り多くの人が納得できる「新しきもの」を創造する事が、今求められていると思う。



1 地方創生について(知事へ)

【企画振興】

◎国は地方創生を掲げ、やる気のある工夫する地方が生き残れる制度を積極的に用意しており、自治体のトップの指導力により大きな格差が生まれる時である。

「国の打ち出す施策に準じて、部局ごとに目の前の課題と向き合う」のではなく、「地域特性を生かした新しい試みを積極的に実行しなければ生き残れない」ということを知事、県議会議員、全ての職員が自覚し、②200万県民の参加を含めた『オール長野県』で課題に向き合わなければならない。認識を伺う。

【産業労働】

◎県政の最重要課題である産業各分野の人手不足についてどのような対策を用意して向き合おうとしているのか。また多くの子育て家庭と対話を続ける知事に「女性の働き方」の目指す方向を伺う。

【企画振興】

◎長野県議会は、先の11月議会総務

【建設】

◎高規格道路は「時間が読める道路であって、信号機を無くすことが原則」であるが、松本糸魚川線、佐久松本線などについて「信号がなく時間が読める道路へのこだわり」が計画に見えない。この原理原則をどう実現していくのか伺う。

【企画振興】

◎交通政策局では、高齢者の買い物や医療機関への足の確保、充実などの生活圏での交通問題の検討も行うべきだと考えるがいかがか。

◎その地域で育った人たちが故郷に定住することがなによりも大切だと考える。計画の中では福井県の「三世代同居の方針」のような成果の上がる具体的な方針を見つけては出来なかったが、どのような実行案を用意しているのか伺う。

【産業労働】

◎企業警察委員会発議で、国に対し「鉄路への公的資金の導入」を求めたが、県として一体どう大系線、飯田線、飯山線、小海線などにどう対応するのか、基本方針を伺う。

◎長野県の技術・技能者はここ数年で著しく減っており、その原因は技術・技能者の働き方と報酬の在り方にある。技術技能を大切にしている県政の取り組みと支援について伺う。

◎2030年の自動車革命によって、本県の産業の主力である「ものづくり企業」への影響をどう分析しているか、大きな変化に備える支援策を県として対策を用意しているのか。

◎産業を支えるデジタル人材の本県における不足が課題となっているが、県土のバランスある発展のためにも、唯一県のデジタル人材高等教育施設が設置されていない中、信地域にデジタル人材を育てる高等教育施設を設置することについて伺う。

【観光】

◎コロナ禍やバスの運行規程の変更で、低迷する観光産業の再生について、県の対策を伺う。

【産業労働】

◎緊急の課題は賃金アップであるが、本県の中小企業は、「社員の賃金の値上げどころではない状況」にある法人がほとんどである。知事は、賃金値上げについて、どう臨むのか。

【人事、県民文化】

◎知事は学びの重要性から、「県民の学び支援課」を新たに設置する。時代の変化に教員が出来る領域でないことを随所で教えており、学ぶことは県最大の課題の一つであるが、どのような成果を期待しているか。

【県民文化】

◎77市町村を調査すると、「出産を希望する家庭を増やす。」政策は、市町村ごとに格差があるが、「格差が生じている子育ての課題」に対して、高レベルの平準化を実現していくようとしているのか。

【環境】

◎過疎化で悩む集落の上下水道の維持は切羽詰まっております。町村の水道の継続策」をどのように支援するのか。

【危機管理】

◎地域消防をまとめる県として、消防団員への櫃同妃の配布の執行達成率はどうか、消防団同士の連携が緩んでいる。体制強化をどう図っていくのか。

【農政】

◎本県の2035年を想定した「農業担い手確保の在り方」を具体的にどのような支援を用意しているのか。

【林務】

◎県が推進していたペレットストーブは、10広域ごとに国の補助と合わせ10割補助でペレット工場を設置し、ペレットの値段を下げ、安価で高齢者にも扱いやすいペレットストーブを定着させるべきと考えるがいかがか。

【県民文化】

◎移住者や関係人口を増やすために「大自然の魅力」だけに頼るのではなく、動中不動の陶芸や彩り豊かな信州の草花の草木染など、長野県の特長に匠技を加えた文化を前面に打ち出し、「人の息遣いが聞こえる」とし、農・商・工が一緒になるメリットを生かすよう求めた。阿部知事は「経済団体や地域の皆さんと意思疎通を図りながら、産業構造や地域社会の変化に適合した学習内容になるよう取り組むことが重要」と述べ、県教育委員会と連携・協力する考えを示した。



宮澤敏文氏

職業高校の特色生かした新校に

宮澤氏は、県立3高の再編統合による安曇野総合技術新校(仮称)について「人材不足の切り札として期待され

る本県ならではのひとりの知恵を打ち出す戦略」が必要だと考えるが

【企画振興】

◎高齢者などデジタル弱者を対象に、機器の操作などすべての県民が取り残されずに暮らせる社会の達成を図るべきだ。

◎高齢者が地域の仲間と話す場など、地域の人たちが顔を合わせ、お互いを確認し合う集落コミュニティ力は、コロナ禍で著しく低下している。具体的な対策があるか。

【健康福祉】

◎県民の死亡原因トップである「がん」の先進医療は信州大学附属病院を中心に行われており、長野県ががん対策推進条例をまとめ、本会議場で議員提案をしたものとして、本県のがん対策の中核である信州がんセンター充実への継続的な支援をすべきだと考えるが、知事の決意を伺う。

【健康福祉】

◎県下の厚生連病院や公的病院など歯科医師も含めすべての医療機関が県民の尊い命としっかり向き合っていることを踏まえ、日々進化する設備への支援を含め、医療機関への県の支援の在り方について伺う。

2 教育問題について(教育長へ)

◎浄財を集め県の力を借りずに地域の自力で創立した白馬高・池田工高など地域高校を統廃合する「地域づくりを高校に託した地域高校の設立の精神」をどのように受け継ぐ気構えなのか。

◎職業高校3年の上に専門性を学ぶ「専攻科の設置要望」は強く、地域、企業、働く人23,500人の署名簿が知事と教育長に提出された。産業界から必要とされ、地域から愛され頼りとされる専門職業高校の専攻科設置はぜひとも実現し、日本中から注目される専門性豊かな授業や特徴ある高校にすべきと考える。

◎「専門性の高く、すぐにやめない人を育てる教育の実現」をどのように研究しているか。

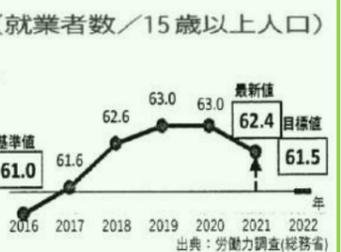
◎地域の100年の計である高校が安易に統廃合すべきではない。とりわけ社会と直結する専門職業高校の再編は、「あらゆる人たちが納得するものでなくてはならない」と考える。職業専門教育の持つ社会的使命を理解しているのか、オール長野県での高校再編にあたる決意と合わせて伺う。

2時間を超える代表質問の38項目の抜粋です。答弁の様子は、下記の「長野県議会公式YouTube」で御覧下さい。



(市民タイムス)

長野県の就業率(2022)



地域の対話から始まる政治、貫く

- 1.高齢化のため集落の川ざらい草刈りなど事業ができない状況だ。公的支援の要請がほしい。 飯田 沢渡 堀之内
- 2.谷地川上流を整備してほしい。 堀之内
- 3.平川上流が崩れているので対策してほしい。 飯森
- 4.農業用水のわっかが進んでいる。改良を。 飯森
- 5.鳥獣被害サルなどが、とても多いので対策してほしい。 内山 飯森 名鉄
- 6.犬川 曲沢の底が高くなっている。取り除いてほしい。 飯森 飯田
- 7.国道406号 148号側溝上げ側面のアカシアの伐採。 飯森 堀之内
- 8.姫川源流の草刈り。大町建設事務所もやっているが、もっと回数を増やして欲しい。 佐野

白馬村神城地区の県政要望会



- 9.サンパークのトイレの改修 三日市場
- 10.国道148号線の騒音や歩道の雪かきの徹底を 深空
- 11.山小屋トイレへの改修支援 案内人組合
- 12.登山道の整備に定額の支援が欲しい。 案内人組合



松川村女性県政要望の集い



池田町女性県政要望の集い

『県民が真ん中の政治』ずっとこの道一筋に歩いてきました。「子供の成長が心配。年を重ねたが周りには話をする人もいなくなり、一人暮らしは不安だ。家の中まで猿が来て、食品や春植える種などを持って行かれる。買い物は唯一の楽しみだが足がない。里には子供の声なくなった。雪を片付けてくれる人もいない。」
「県への要望は限りない。大切に大切に、一つ一つ知恵を絞り、ワクワクする仕掛けを創り、前へ向いて大切な人達と一緒に歩いて行きたい。」と願います。
宮澤敏文

365日行動する宮沢県議の長野県議会での主な役職

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 長野県 JA 農協議員懇話会会長 | JA 全農 信連 共済連 厚生連など |
| 長野県がん対策議員連盟会長 | 長野県がん対策条例をまとめる |
| 長野県商工議員連盟幹事長 | 議会商工会支援の束ね役 |
| 長野県山岳環境保全議員連盟会長 | ライチョウや山小屋の支援 |
| 県議会観光振興議員連盟幹事長 | 県議会観光業の振興の中心 |
| 県議会文化芸術議員連盟副会長 | 文化芸術振興の推進 |
| 県議会私学振興議員連盟副会長 | 幼稚園 小 中 高校 専門学校 短大振興 |
| 県議会スキー産業・索道振興議連会長 | スキー産業の振興 |

2035年を目標とする中期5カ年計画が令和5年度からスタートするこの時期に、県議会県民クラブ・公明大北支部を中心に県民

のアンケート調査を実施した。過去に定期的に調査してきたが、2月25日までの第1次集計では、530名の皆さんから項目ごとに、長野県政への「県政要望アンケート」が寄せられた。

＜項目ごとの要望割合＞

①子育て 8.3%	②雇用 9%	③産業農林業地域振興 24%
④減災対策 4.5%	⑤ガン・医療 9.7%	⑥交通網整備 10.4%
⑦福祉 20.5%	⑧安心・安全 7.3%	⑨教育 3.5%
⑩環境 2.8%	(4月20日第2次集計を最終とします)	

「アンケートはがき」の県政への要望

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1.白馬高校の存続。 | 白馬村 小谷村 |
| 2.松糸道路の早期着工実現。 | 白馬村 |
| 3.池田町の人口減少対策と街の活気作り。 | 池田町 |
| 4.池田町会染社口原を立派な耕作地に。 | 池田町 |
| 5.婚活対策・出会いの場づくりを。 | 池田町 松川村 小谷村 |
| 6.子供と離れて暮らしている。働き場を増やして。 | 白馬村 |
| 7.熊、猿、鹿、猪が出て困っている。対策を。 | 小谷村 白馬村 |
| 8.間伐材の活用を。 | 小谷村 |
| 9.大糸線を存続してほしい。JR西日本へ働きかけ。 | 小谷村 |
| 10.老人年金や老人対策を充実してほしい。 | 小谷村 |
| 11.県道の歩道整備を舗装が凸凹で補修を。 | 池田町 小谷村 |

松川村女性の皆さんからの県政要望

- 1.高齢者や運転免許証返納者への買い物など移動の足の確保。
- 2.松川村と池田町間の高瀬川に(仮称)細野橋の建設を。
- 3.ハロー安曇野跡地の農業での活用は是非とも進めて。
- 4.松川村のシンボル赤松の伐採後に杉や檜を植えたが花粉症被害を生んでいる。
- 5.地域高規格道路の騒音や振動対策を。
- 6.移住推進のため自家菜園をセットで用地確保してほしい。
- 7.婚活を推進すべき、女性の登録を増やそう。
- 8.高齢男性の一人暮らしは大変のようだ、サポートを。
- 9.道路にトラックが増えた。振動騒音対策を。
- 10.コロナの予防ワクチン等の負担は国で。

池田町女性の皆さんからの県政要望

- 1.滝沢社口原地区は、耕作者の高齢化が進み、鹿の被害などの被害も多い。県も一緒に農業の再構築を。
- 2.食育は何より大事。「早寝 早起き 朝ごはん」を幅広い運動に。
- 3.体験型教育や、ものづくりなど「つくる」ことを大切に教育を。
- 4.池田工業高校は大事。地元企業の就職の要でもある。教育の里池田町に残して欲しい。
- 5.健やかな子育てができる環境づくり。
- 6.農業と福祉。「やさしい心で見つめる心」を大切にする県政の実現。
- 7.大北地区唯一の高等教育の場「日本アルプス国際学院」の役割と今後は。